



AutoCAD 2004 概説書

AutoCAD 2004 は、次の多くの領域で新しく強化された機能を提供します。：

- 使い易さ
- チームワーク
- パフォーマンスと管理

目次

パレット	3
ツール パレット	3
ツールパレットの作成	7
Design Center	7
プロパティ パレット	8
データベース接続	10
ステータスバー	10
外部参照 (Xrefs)	11
外部参照を開く	11
外部参照管理	11
外部参照検索パス	12
外部参照の編集	13
作図補助の強化	13
MText	13
Express Tools	15
雲マーク	15
マルチ アンドゥ と リドゥ	16
True Color / Pantone カラー サポート	16
階調度塗り潰し	17
シェーディング ビューポート印刷	18
平面グリップ編集	19
自動調整 QDIM	19

コミュニケーション センター.....	20
外部参照通知	22
参照ファイル管理.....	22
図面のセキュリティ	23
パスワード保護.....	24
デジタル署名	25
CAD 標準仕様.....	26
改良されたユーザ インタフェース	27
CAD 標準仕様 ダウンロード センター	27
プラグイン フィルタリング.....	28
リアルタイム通知と修復	29
スタンドアロン レポート	30
Buzzsaw の統合.....	30
パフォーマンス	31
ファイル圧縮	31
通常インストール.....	31
CD-ブラウザ.....	31
共存インストール.....	32
Microsoft Windows ロゴ認定	32
その他の変更と強化	32
CAD Manager Tools.....	33
Autodesk Product Manager.....	33
インストレーション スクリプト生成ウィザード	33
CAD 管理者 コントロール ユーティリティ	34
ソフトウェア展開.....	35
展開イメージの編集	35
サーバー設定	36
カスタム展開ツール	36
管理上のコントロール	37
ソフトウェア ライセンス	38
ライセンス借用	38
ライセンス タイムアウト	39

使い易さ

AutoCAD 2004 は、新しく使いやすいパレット インタフェース や、時間を節約する外部参照(Xref)機能など、同様の多くの作図補助の拡張を提供します。

パレット

AutoCAD 2004 の新しいパレット インタフェースは、新しいツールや既存のツールに時間を節約する機能性を提供します。

ツール パレット

新しいカスタマイズ可能なツール パレットは、ブロックとハッチングを含む図面のコンテンツに対して、頻繁に使用される容易なアクセスを提供します。これによって、デザインの中へ既存の図面コンテンツを挿入したり、検索したりする時間を節約することができます。

AutoCAD 2004 は、この新しい有益な機能を紹介するために、2つのサンプルパレットを含んでいます。ユーザは、既存のパレットを編集したり、新しいパレットを追加したりすることができます。

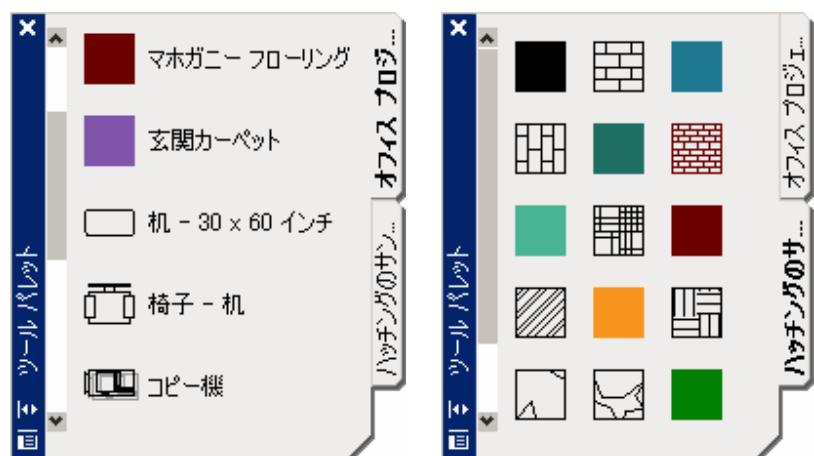


図 1 既定値のツール パレット

状況依存メニュー

状況に影響されるメニューは、パレットツールやパレット自身をコントロールするためのアクセスを提供します。カーソルの位置によって、ツールパレット上のマウスの右ボタンクリックは異なるオプションを表示します。

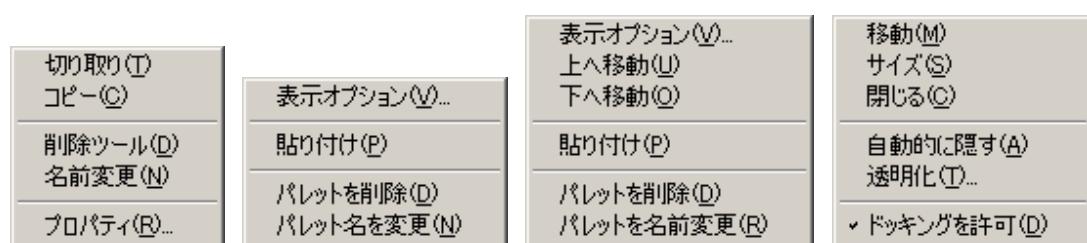


図 2 パレットの状況依存メニュー

ツール プロパティ

パレットツール上でマウスの右ボタンをクリックして“プロパティ”を選択することで、個々のツールにプロパティを割り当てることができます。ツール プロパティ ダイアログボックスでは、ツールに色や画層、線種などの一般プロパティを適用することができます。加えて、ツールのタイプに固有なプロパティを割り当てることもできます。例えば、ブロックツールに尺度と回転角度の値を、ハッチングツールにパターンと角度の値を割り当てられます。一度これらのツールに固有のプロパティを割り当てるとき、これらのツールの1つを使う度に、新しいブロックやハッチング参照は自動的に割り当てられた値を使用します。この強力な機能は、生産性の向上を意味すると同時に、一貫性を維持することを可能にします。

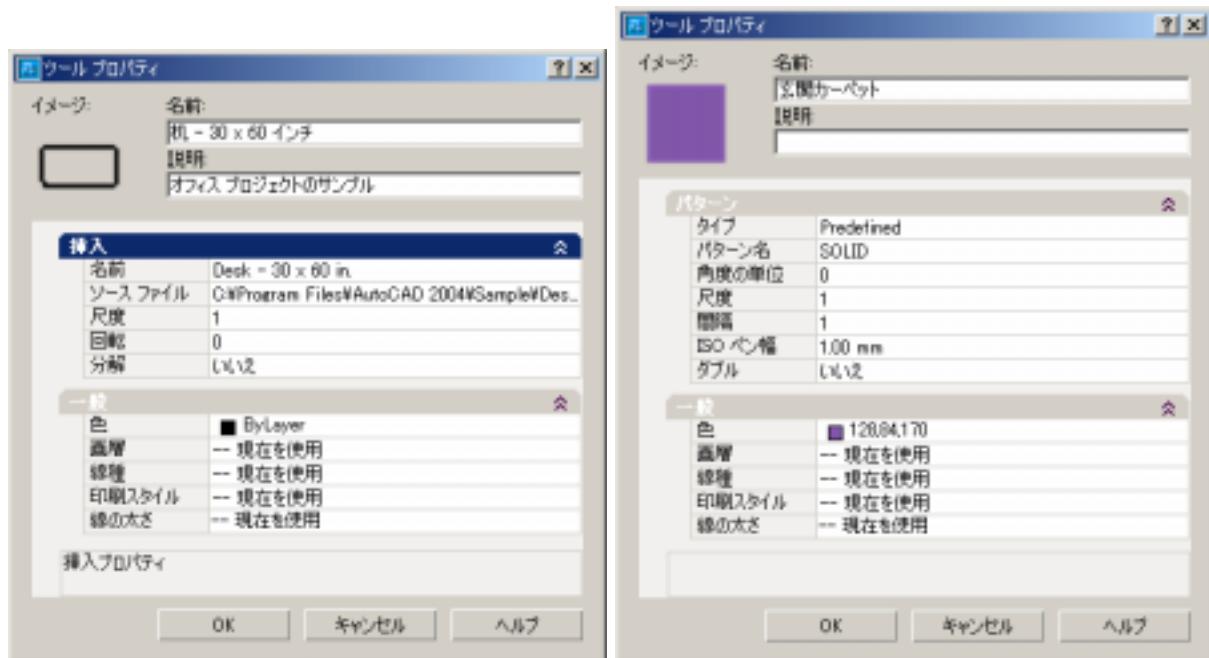


図 3 ブロックとハッチングのツールプロパティ ダイアログボックス

パレットの表示オプション

表示オプションで、固有の環境に適したツールの外観の編集することができます。詳細なツールの説明で、新しいツールを学習することを容易にします。ツールに精通している場合には、スクリーン占有領域を節約するために簡素化したアイコン表示に切り替えることができます。個々のパレット別や、同時にすべてのパレットに表示オプションを適用できます。



図 4 表示オプション ダイアログボックス

コンテンツのスクロール

パレットのサイズが、すべてのコンテンツを表示するために必要なサイズよりも小さい場合、スクロールバーがパレットの端の近くに自動的に表示されます。パレットを上方方向や下方向に動かすためにスクロールバーを使用したり、カーソル上に表示される“手のひら”シンボルを使用することができます。コンテンツのスクロールは、ツールへの容易なアクセスを維持しながら、スクリーン占有領域の増加に対してパレットのサイズ変更を可能にします。

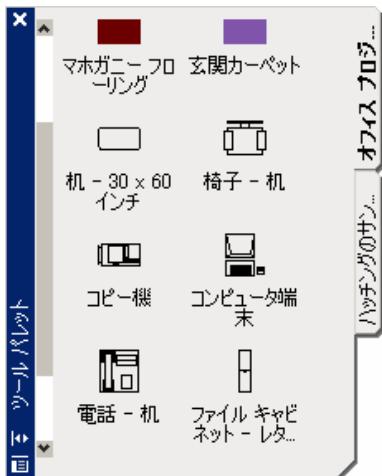


図 5 スクロールバーが表示されたパレット

“自動的に隠す”オプション

“自動的に隠す”機能は、稀に使用されるツールへの容易なアクセスを維持しながら、デザインと作図補助のためにスクリーン占有領域を大きくすることができます。単に最小化されたタイトルバー上にカーソルを通過させて、完全なパレットを表示します。パレットからカーソルを動かすとすぐに、パレットは自動的に最小化します。プッシュピンは、ツールパレットの展開された状態を保護して、よく使われるパレットがいつでもすぐにアクセスできるように、展開された状態を維持するができます。

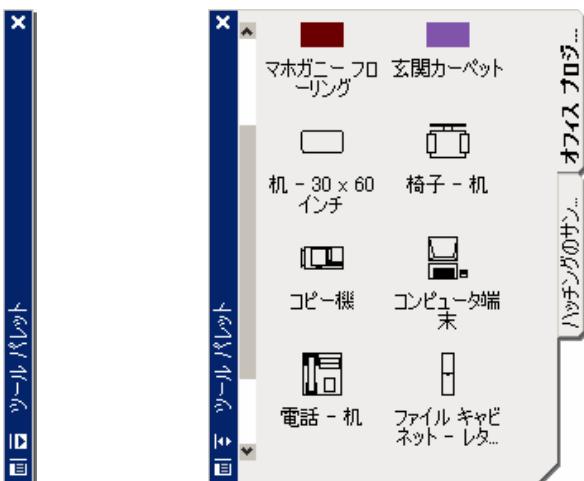


図 6 “自動的に隠す”がオンとオフのパレット

透明化

透明化は、パレットの下に図面のジオメトリを透かして見ることを可能として、増加したスクリーン占有領域を節約します。同様に、コマンド ウィンドウにも、“透明化”や“自動的に隠す”を適用することができます。



図 7 透明化オンのコマンド ウィンドウ

個々のパレットの透明化レベルは、完全な不透明から、わずかに見える程度まで調節することができます。また、1回の簡単なクリックですべてのパレットの透明度をオフにして、いくつかのシステムで表示機能を向上させることができます。

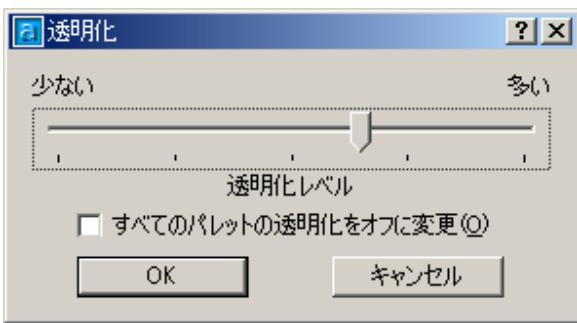


図 8 透明化コントロール ダイアログ

ツールパレットの作成

簡単に固有のツールパレットを作成して、最も良く使われるブロックとハッチング パターンと共に、それらを置くことができます。いずれかのツールバー上でマウスの右ボタンをクリックをして“カスタマイズ”を選択し、ツールパレット タブ上で必要なツールパレットを追加することができます。パレットの順序を指定したり、名前の変更や既存のパレットの削除をコントロールすることができます。同様に、他のシステムで使用するためにパレットの設定を読み込んだり、書き込んだりすることもできます。

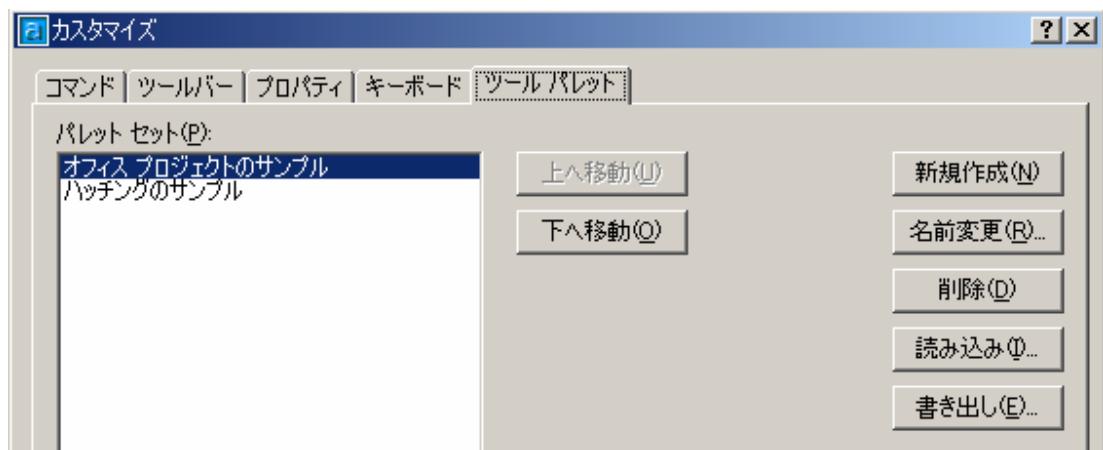


図 9 ツール パレット タブ

Design Centerを使って、すばやくお気に入りのブロックやハッチングパターンをツールパレットに追加することができます。

Design Center

AutoCAD 2004 の Design Center は、新しいパレットインターフェースを利用してデザインが変更されています。フォルダ、図面を開く、ヒストリ と、新しい DC オンライン へアクセスする4つのタブが提供されます。

コンテンツにアクセスするために DesignCenter を使用して、ブロックライブラリに基づいたパレットをすばやく作成することができます。ファイルやファイルのディレクトリに基づいて、1回のクリックでブロックパレットを作成します。

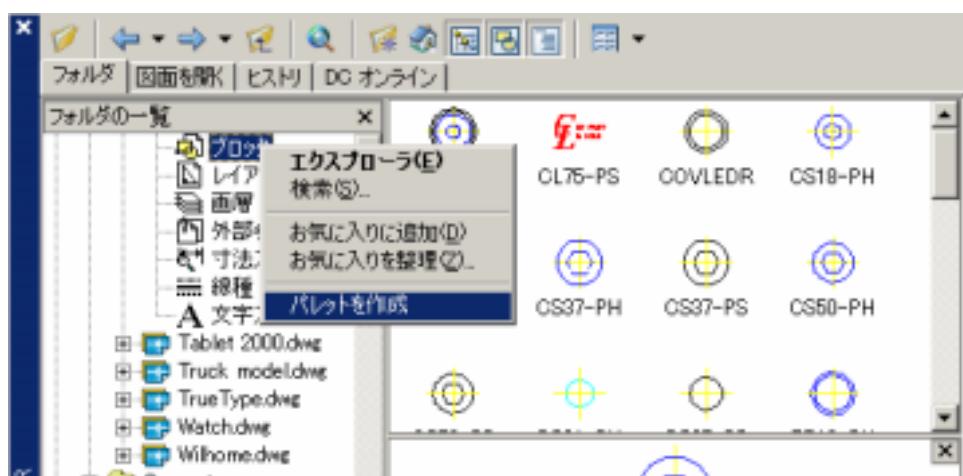


図 10 DesignCenter とのパレットの作成

Design Center オンラインは、Autodesk カスタマーのために供給されたコンテンツのリソースコミュニティです。Autodesk Point Aの登録メンバーは、コンテンツを課金なしで共有してダウンロードすることができます。

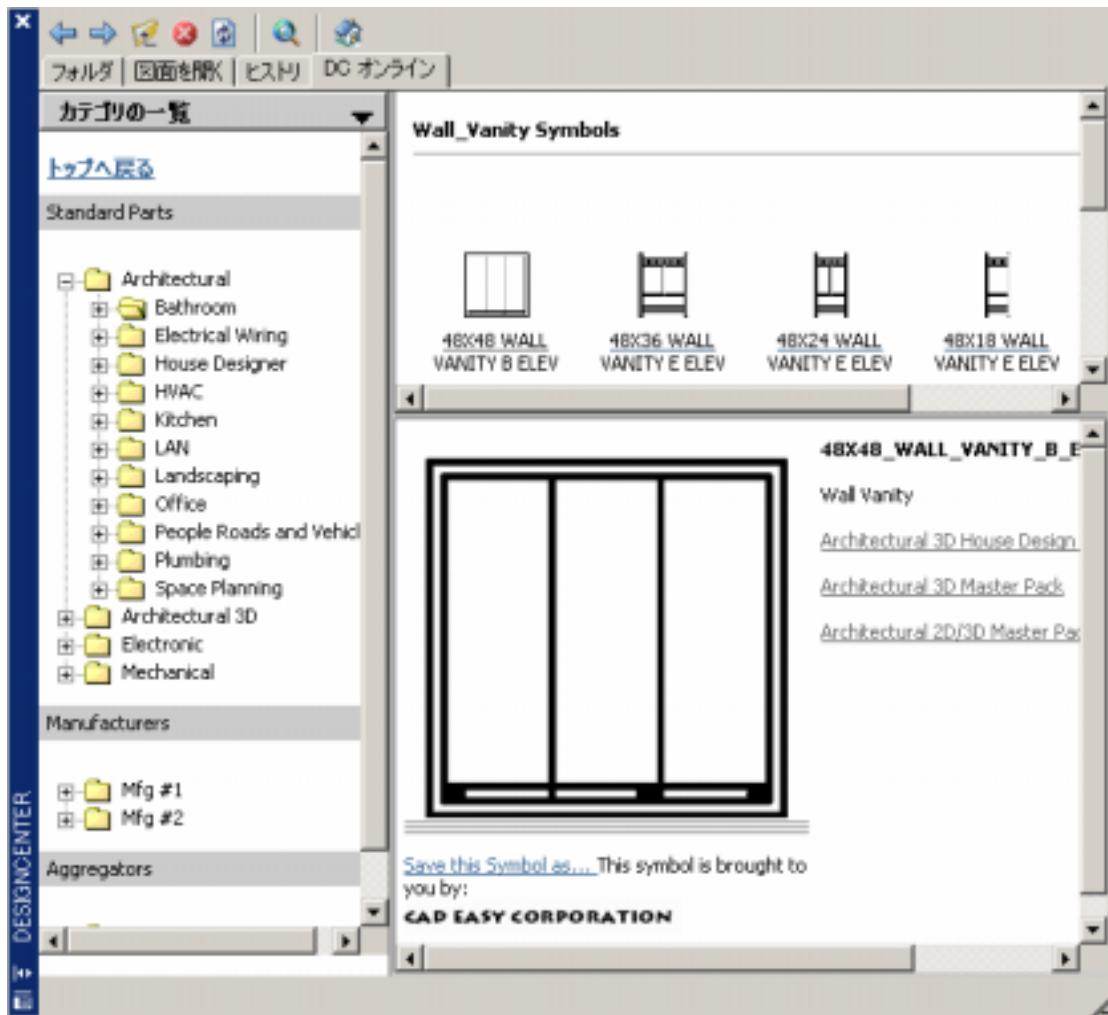


図 11 DesignCenter オンライン

プロパティ パレット

プロパティ ウィンドウは、新しいパレットインターフェースで更新されています。新しいルック & フィーるに加えて、プロパティ機能は、ブロック属性へのアクセスを含むよう拡張されています。属性プロパティの追加で、プロパティパレットから直接ブロックの属性内容を選択、表示、編集することができます。



図 12 属性付きのブロックが選択されたプロパティパレット

もう一方のプロパティ ウィンドウへの“時間節約”的な拡張は、持続プロパティビューです。AutoCAD 2004 では、プロパティウィンドウに表示するプロパティのタイプが、それらを変更するまでオブジェクトタイプと共に持続します。例えば、文字オブジェクトを選択している際には、通常、文字プロパティを表示したいはずです。また、ハッキングオブジェクトを選択している際には、やはり、パターンプロパティを表示したいはずです。一度プロパティを表示したい特定のオブジェクトタイプを選択すると、次のそのオブジェクトタイプの選択は、同じタイプの情報を自動的に表示します。

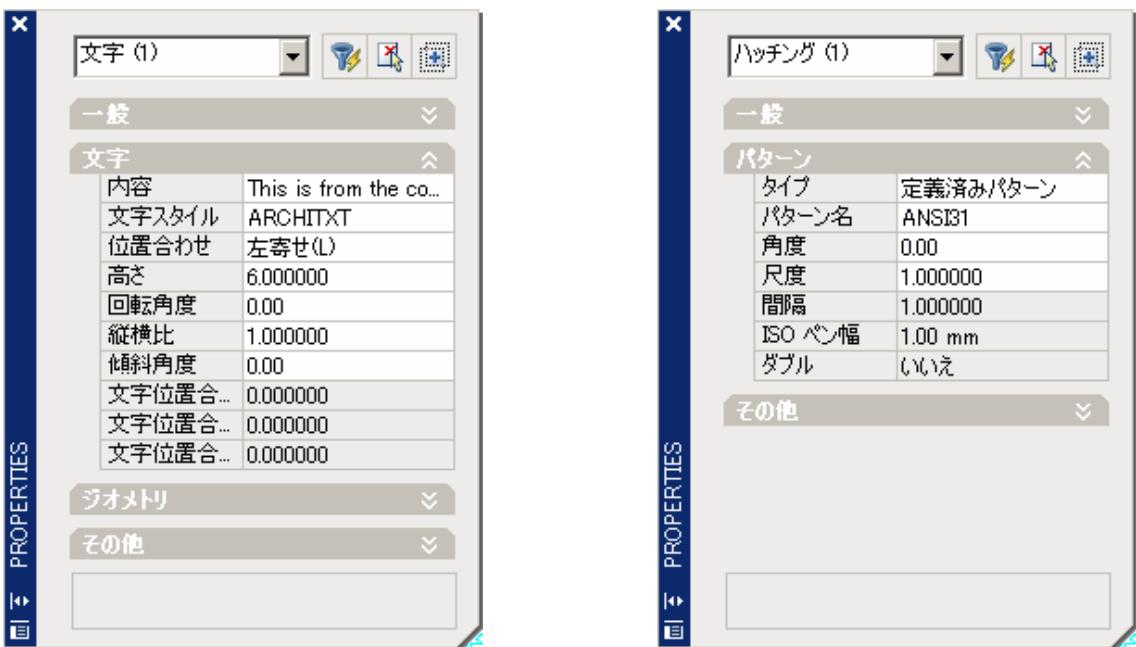


図 13 オブジェクトタイプ別に保存された表示情報でのプロパティウィンドウ

データベース接続

図面オブジェクトをデータベースレコードへリンクするために使用される、データベース接続マネージャは、新しいパレット機能を含んで更新されています。

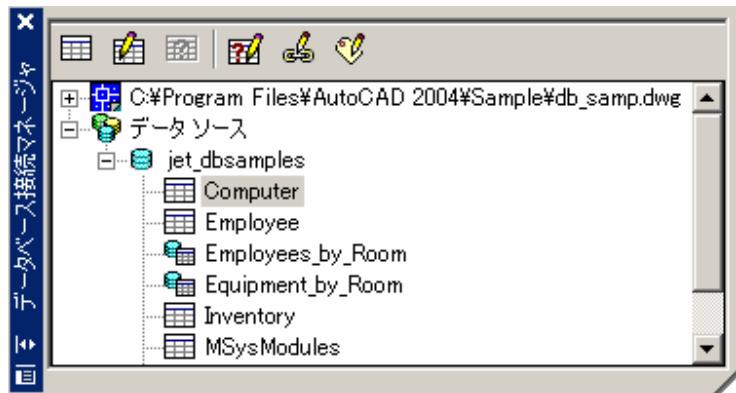


図 14 データベース接続 パレット

ステータスバー

表示されるツールに対するより多くのコントロールを提供するために、ステータスバーは AutoCAD 2004 で更新されています。ステータスバー上でのマウスの右ボタンクリックは、オプションのリストを表示します。

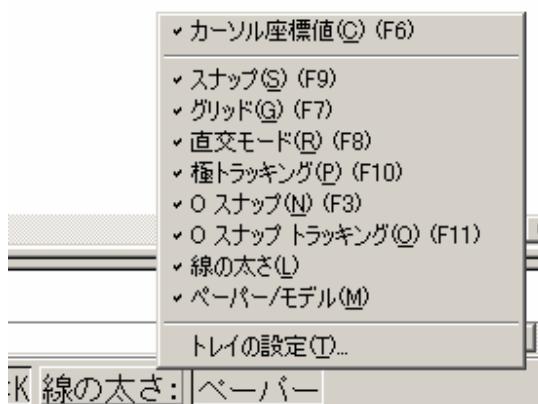


図 15 ステータスバーの状況依存メニュー

トレイの設定 ダイアログボックスは、ステータストレイのアイコン表示をコントロールできます。

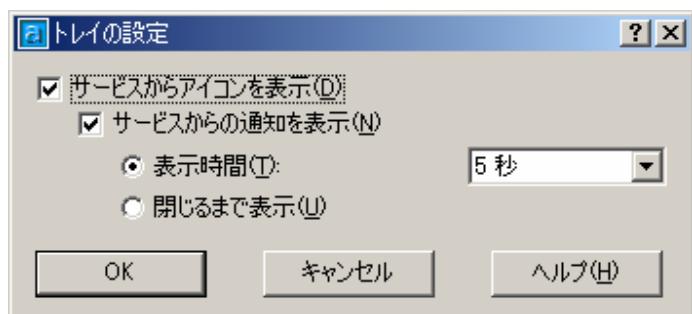


図 16 トレイの設定 ダイアログボックス

アイコンは、外部参照の存在、標準仕様、デジタル署名や、その他を含む図面セッションの様々な状態を示します。



図 17. ステータス アイコン

外部参照 (Xrefs)

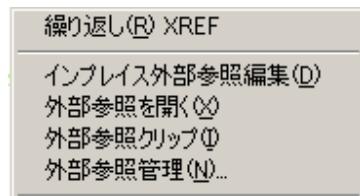
AutoCAD 2004 は、外部参照された図面との作業方法を非常に改善します。ホスト図面の外部参照は、管理と編集に関係した重要な機能と同様に、指定された表示順序を守ります。

外部参照を開く

AutoCAD 2004 は、新しい図面ウィンドウへ外部参照全体をすばやく開くことができる新しいコマンド、XOPEN を導入します。ホスト図面のコンテキスト内部からファイル選択の利便性を持ちながら、外部参照ファイル上で直接作業することでパフォーマンスを享受することができます。

ホスト図面を開いて、編集したい外部参照を選択し、マウスの右ボタンクリックで“外部参照を開く”を選択することができます。同様に複数の外部参照を同時に選択して、それぞれのファイルを自身の図面ウィンドウに開くこともできます！

新しい XOPEN 機能は、外部参照ダイアログボックス同様、コマンドラインでも利用可能です。



外部参照管理

外部参照管理は、複数の外部参照ファイルを開くためのタグ付けを可能にする、“開く”ボタンを含むよう更新されています。新しいアイコンは、それぞれの外部参照ファイルの状態の表示効果を提供します。外部参照管理上に存在している、タグ付けされたすべてのファイルは、自身の AutoCAD ウィンドウに自動的に開きます。

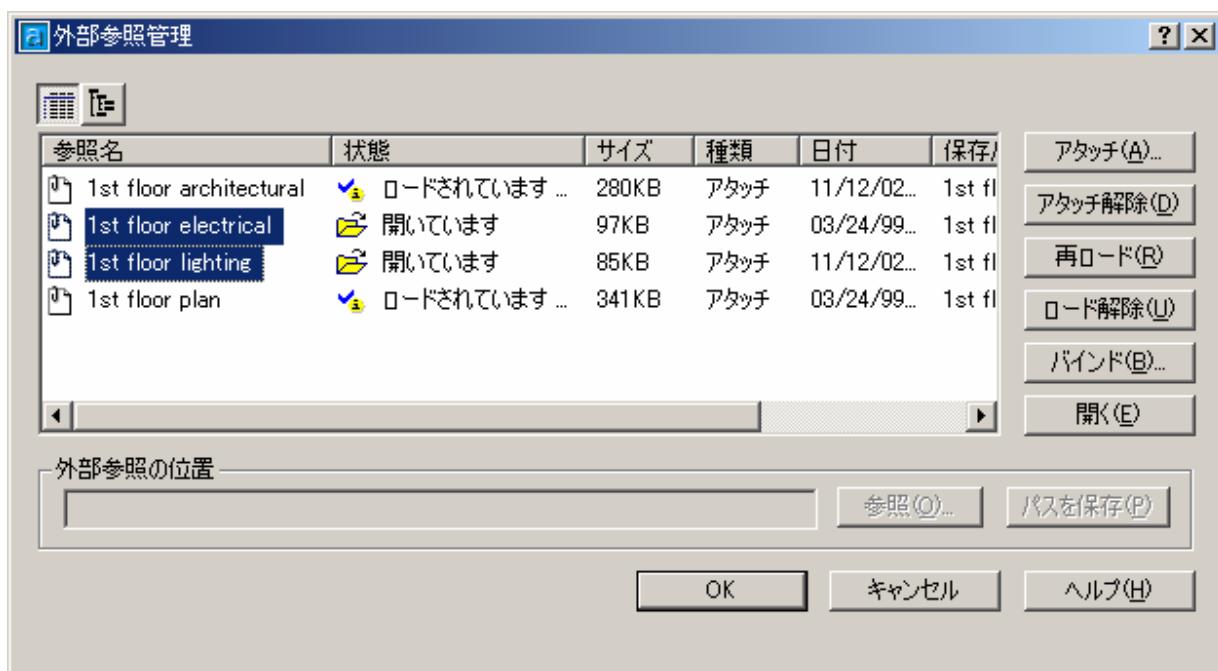


図 18 開くために選択されたファイルと外部参照管理

外部参照管理と他の外部参照に関するツールは、新しいサイズ変更可能なダイアログボックスを提供するために拡張されています。

外部参照検索パス

外部参照パスの割り当てと検索は容易で一貫しています。AutoCAD 2004 の外部参照ファイルの割り当てでは、絶対パスや相対パスを指定することを可能にします。ネストした外部参照の相対パスは、現在の図面ではなく、それらの当座のホストファイルに相対的に検索されます。

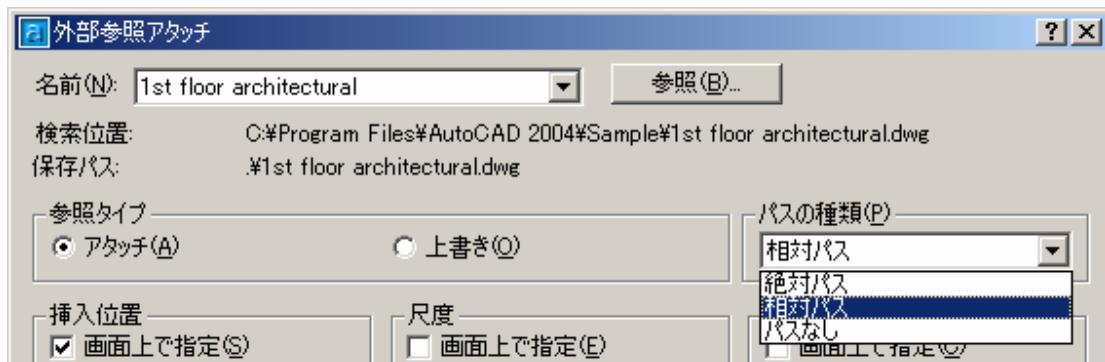


図 19 パスタイプを表示した外部参照ダイアログボックス

AutoCAD 2004 は、外部参照用に次の一貫する検索順序を提供します。:

- 外部参照に結び付けられた明示的なパス
- ホスト図面の現在のフォルダ
- プロジェクト パス
- サポート パス
- 開始 フォルダ

外部参照の編集

インプレイス参照の編集は、より効率的な使い易さを提供する AutoCAD 2004 で強化されています。

サイズ変更可能な 外部参照を編集 ダイアログボックスは、参照されたジオメトリの完全な階層ツリーを表示します。AutoCAD が自動的にすべてのネストしたオブジェクトを選択するか、ネストしたオブジェクトを選択するためにプロンプトするかを選択できます。また、作業セットにオブジェクトをロックしないよう選択することもできます。



図 20 外部参照を編集 ダイアログボックス

作図補助の強化

MText

MText エディタへおこなわれた有益な拡張は、図面に文字を作成する際や編集する際の、容易で作業時間を見短する機能を提供します。

これは次の主要な機能を含みます。：

- 新しいフレームレス エディタ
- 新しい状況依存メニュー
- タブとインデントのサポート
- 文字ドラッグ時の完全な表示

新しい MText を作成するか、既存の MText オブジェクトをダブルクリックして、“テキストの整形”ツールバーと同様に、ルーラーを伴う新しいフレームレスエディタを表示します。読み取るのに小さすぎる文字の場合は、MText エディタは拡大したビューを表示します。また、文字に近すぎる場合は、エディタは縮小したビューを表示します。文字の現在の表示が視覚的に適切なら、MText エディタはエディタ内の文字の表示サイズを維持します。

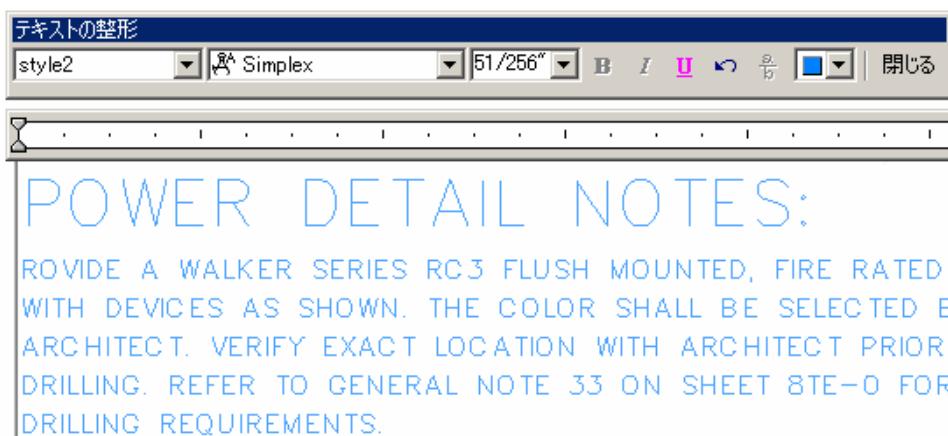


図 21 MText エディタ と “テキストの整形” ツールバー

“テキストの整形” ツールバーだけでなく、状況依存メニューも、文字高さや大文字/小文字の変更など、一般的に使われる文字編集ツールにすばやいアクセスを提供します。

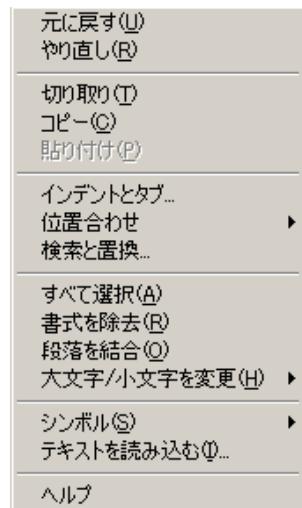


図 22 MText の状況依存メニュー

フレームレス エディタ上部のルーラーか、インデントとタブ ダイアログボックスを使って、段落タブとインデントを作成や編集ができます。

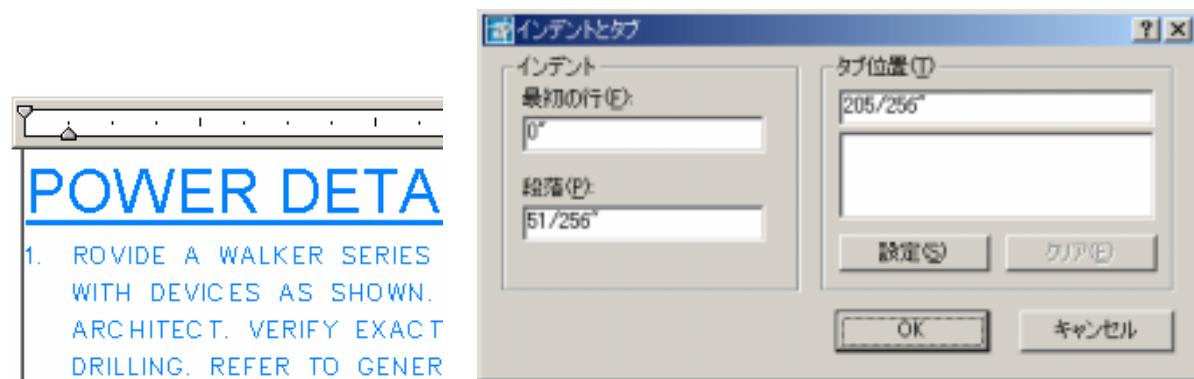


図 23. MText のインデントとタブ

Express Tools

AutoCAD Express Tools は、AutoCAD 2004 のパワーの拡張を手助けするようデザインされた、生産性に優れた 80 を超えるツールのライブラリです。これらの使い易いツールは、AutoCAD 2004 インストール CD に含まれており、メニューとツールバーに簡単に統合されます。AutoCAD Express Tools は、画層管理、寸法、図面、オブジェクト選択とオブジェクト編集、を含む AutoCAD の機能を広範囲にカバーします。

最もポピュラーな次のツールを含みます。：

- **円弧上テキスト** - 円弧に沿って文字を配置します。
- **画層のフリーズ** – 選択されたオブジェクトの画層をフリーズします。
- **Text – Mtext 変換** - 1 行以上の文字を MText に変換します。

AutoCAD Express Tools Volumes 1-9 をインストールするためには、AutoCAD 2004 インストーラの Step 5 を参照してください。



図 24. AutoCAD 2004 インストーラ

雲マーク

図面を閲覧したり “赤入れ” したりする場合、マークアップを強調するために、雲マークの機能を使って生産性を向上することができます。REVCLOUD コマンドは、連続する円弧のポリラインから雲形状オブジェクトを作成します。

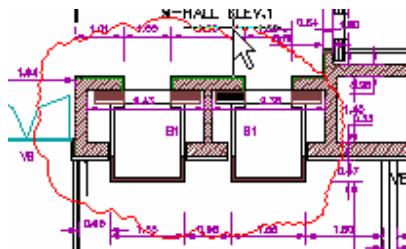


図 25 雲マーク

マルチ アンドゥ と リドゥ

Redo コマンドは、複数のアンドゥしたコマンドをやり直す（リドゥ）ための機能を提供するよう、強化されています。“未完了”コマンドのヒストリは、最近のアンドゥ操作の度に入れ替わり表示できる、“やり直し”ドロップダウンメニューから利用することができます。Undo コマンドは、操作を取り消すために選択できるよう、前回の操作のドロップダウンメニューを提供するよう更新されています。この強力な機能は、前回の操作を一つでも取り消したり、やり直したりすることで、異なるデザインをテストして図面を試すことを可能にします。



図 26 マルチ アンドゥ と リドゥ のヒストリ

True Color / Pantone カラー サポート

AutoCAD 2004 は、プレゼンテーション品質の出力を強化する機能を強化する、ポピュラーなカラーパレットをサポートします。AutoCAD の色選択ダイアログボックスは、複数のタブを含むよう更新されています。インデックスカラー タブは、デザインに実世界の色調を使用することを可能にする 2 つの新しいタブとともに、以前からの AutoCAD インデックスカラーを提供します。True Color パレット上では、HSL (Hue Saturation Luminance) か、RGB (Red Green Blue) のいずれかのカラー モデルを使って、値を入力することができます。

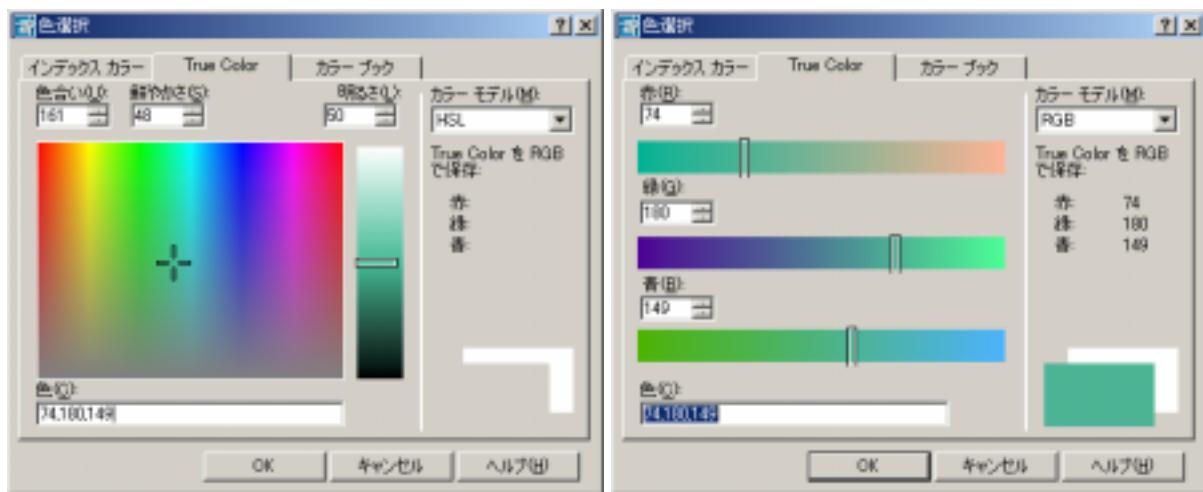


図 27 HSL と RGB カラー モデルが選択された True Color タブ

カラーブック タブは、Pantone カラーブックの種類から色を選択することを可能にします。

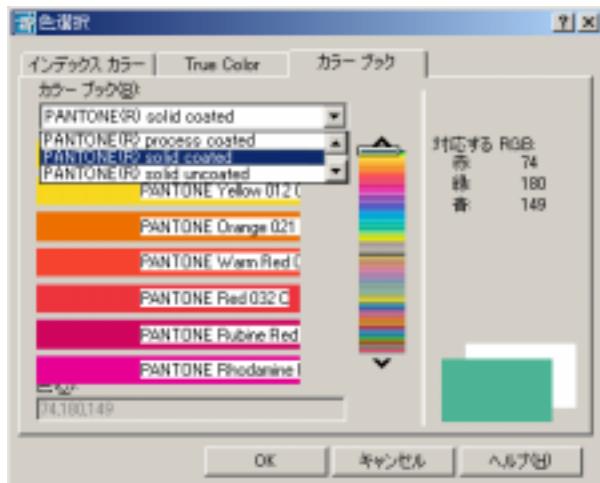


図 28 カラーブック タブ

階調度塗り潰し

境界ハッチングと塗り潰し ダイアログボックス の新しい階調度 タブは、ソリッド ハッチング パターンに階調度色を適用できるようにします。新しい True Color と Pantone カラー オプションを組み合わせた階調度塗り潰しの柔軟性は、AutoCAD から直接プレゼンテーション品質の図面を作成できることを可能します。

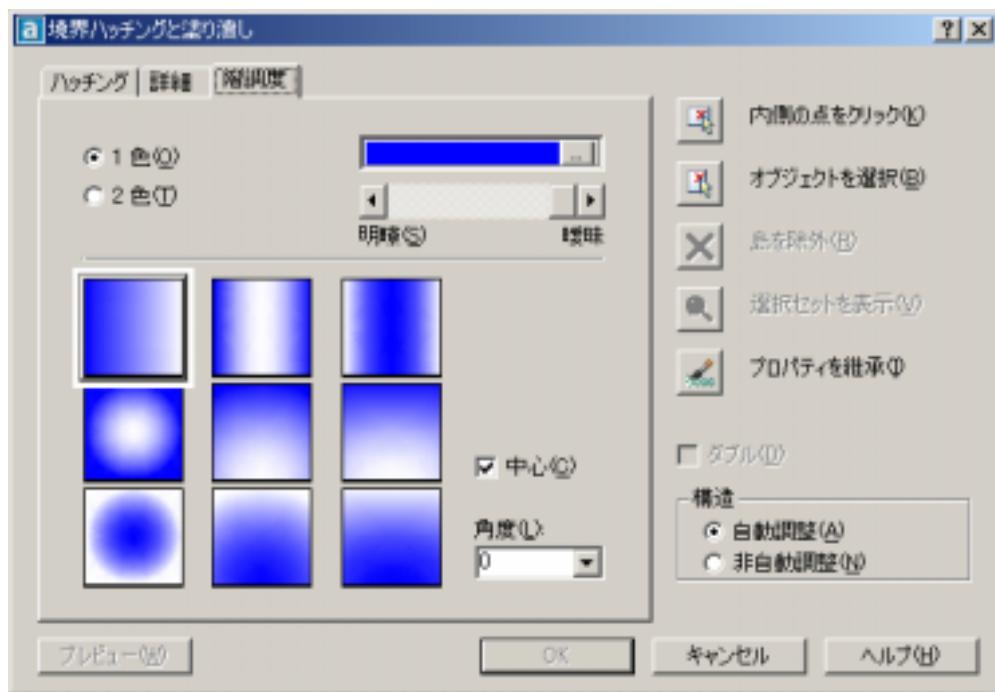


図 29 階調度 タブ

シェーディング ピューポート印刷

AutoCAD 2004 では、プレゼンテーション出力用にシェーディングまたはレンダリングされた3D等角図を印刷できます。この機能は、ペーパー空間レイアウトと同様に、モデル空間からシェーディング/レンダリングされたモデルを印刷する機能を含んでいます。

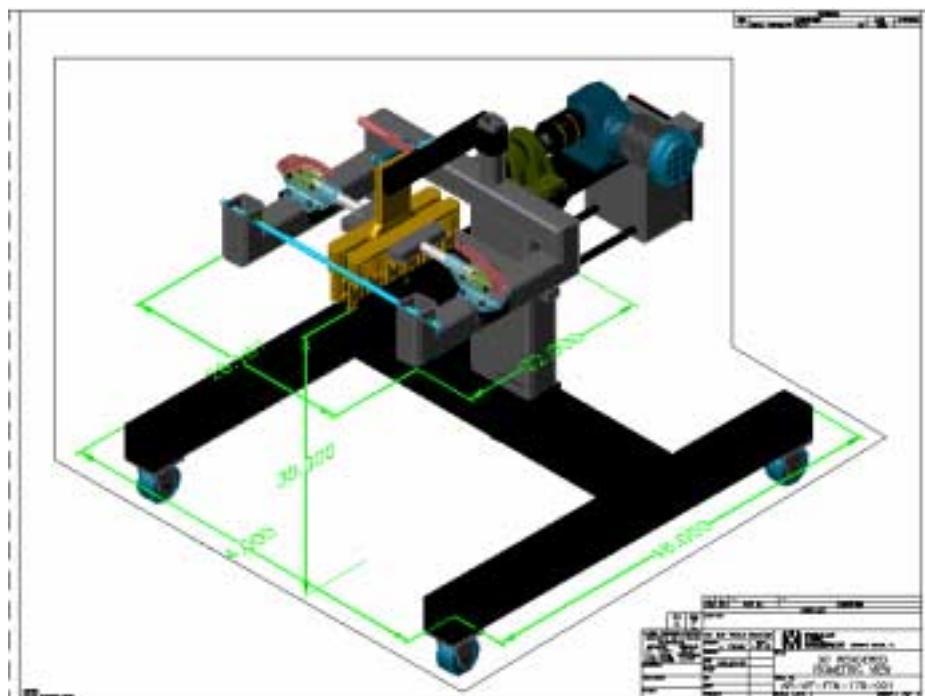
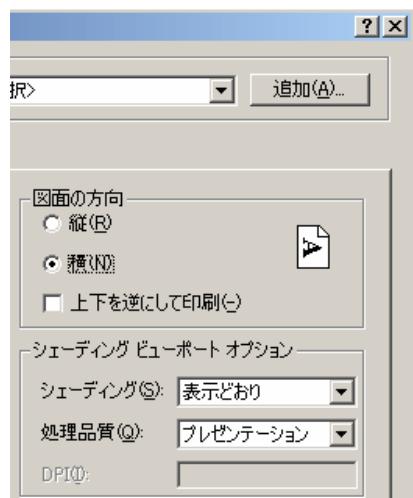


図 30 シェーディングされたビューポートを持つ図面レイアウト

ページ設定と印刷ダイアログボックスは、新しいシェーディングビューポートオプションを含むために変更されています。

**図 31 印刷設定とレイアウト設定タブのシェーディングビューポートオプション**

平面グリップ編集

グリップの外観と動作は、より直感的で能率的な動作をするよう更新されています。グリップは、ソリッド塗り潰しで、オブジェクト平面を基にした方向か、選択されたオブジェクトの方向を伝えるUCSで表示されます。

UCSの割り込みはグリップがアクティブになる際に切り替わります。原点と暗黙のUCSのX軸は、ホットグリップと平面の交差上に基づきます。座標入力は、暗黙のUCSに基づきます。この新しい機能の結果として、2DオブジェクトはオブジェクトのXY平面に常にストレッチします。

四半円点グリップ(円と梢円)は、中心点に相対してストレッチします。

新しいGRIPOBJLIMITシステム変数は、グリップは表示されるかに関してコントロールを提供します。

自動調整QDIM

QDIMコマンドは、自動的に潜在するジオメトリと共に関連する寸法を作成するように拡張されています。この拡張機能で、デザイン変更が発生する度に確実に寸法を自動更新しながら、すばやく寸法を製図することができます。これらの多様なツールに加えて、AutoCAD 2004はそれほど明示的でない他の作図補助の改良を提供します。例えば、Windows XPを使って図面に埋め込まれた大きなOLEオブジェクトは、もう短くなりません。また、表示順序は外部参照とプロックの中で維持されます。

チームワーク

コミュニケーションセンター

コミュニケーションセンターは、ソフトウェアアップデート、サブスクリプションニュースやエクステンションのアナウンス、プロダクトサポート情報、などについてカスタマの環境を最新に保つために、製品に関連する重要な情報を直接通知します。

Live Updateなどの、AutoCAD TodayのWeb機能のいくつかは、コミュニケーションセンターに統合されています。



図 32. コミュニケーションセンター ダイアログ

ステータスバーのアイコンを使って、コミュニケーションセンターに簡単にアクセスできます。トレイのバブル通知は、新しい情報がコミュニケーションセンターで利用可能になった際に、ユーザへ通知するため使用できます。



図 33. コミュニケーションセンター アイコン

"ようこそ" ウィザードは、設定オプションを選択するプロセスを通す手順を踏みます。

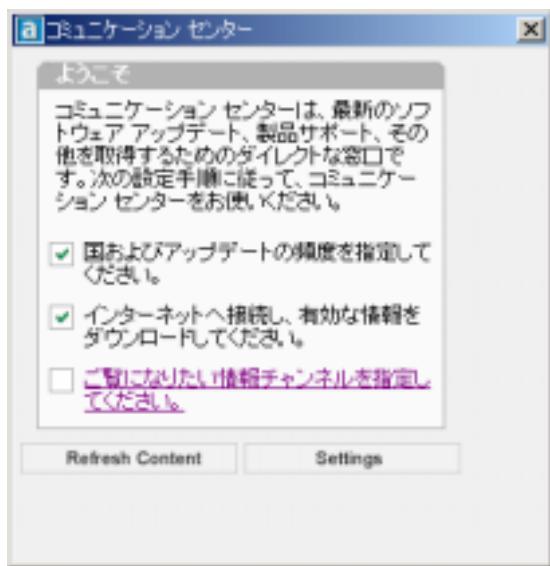


図 34. コミュニケーション センター の ようこそ ダイアログ

コミュニケーション センター アイコン上でマウスの右ボタンをクリックするか、コミュニケーション センター のメイン ダイアログ内の 設定 によって、どのように、受信する情報チャネル、通知設定、インターネットにアクセスするか設定します。

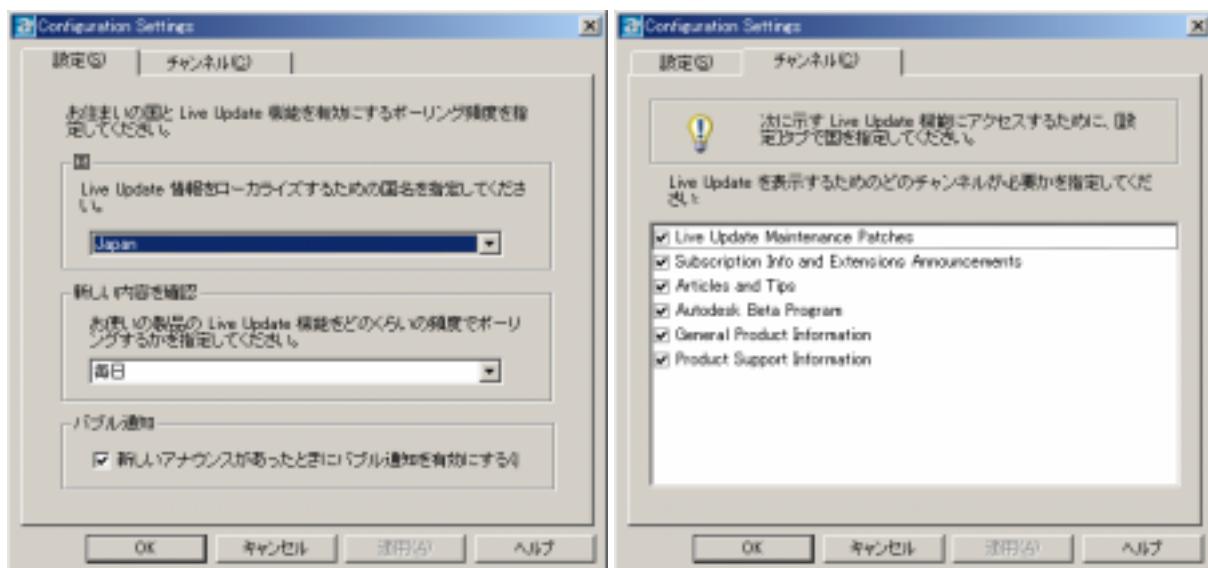


図 35. コミュニケーション センター の 設定

CAD Manager は、ネットワーク インストレーション ウィザード と 製品 CD-ROM にあるスタンドアロンの CAD Manager コントロール ユーティリティの両者で、コミュニケーション センターへのアクセスを持つユーザをコントロールできます。

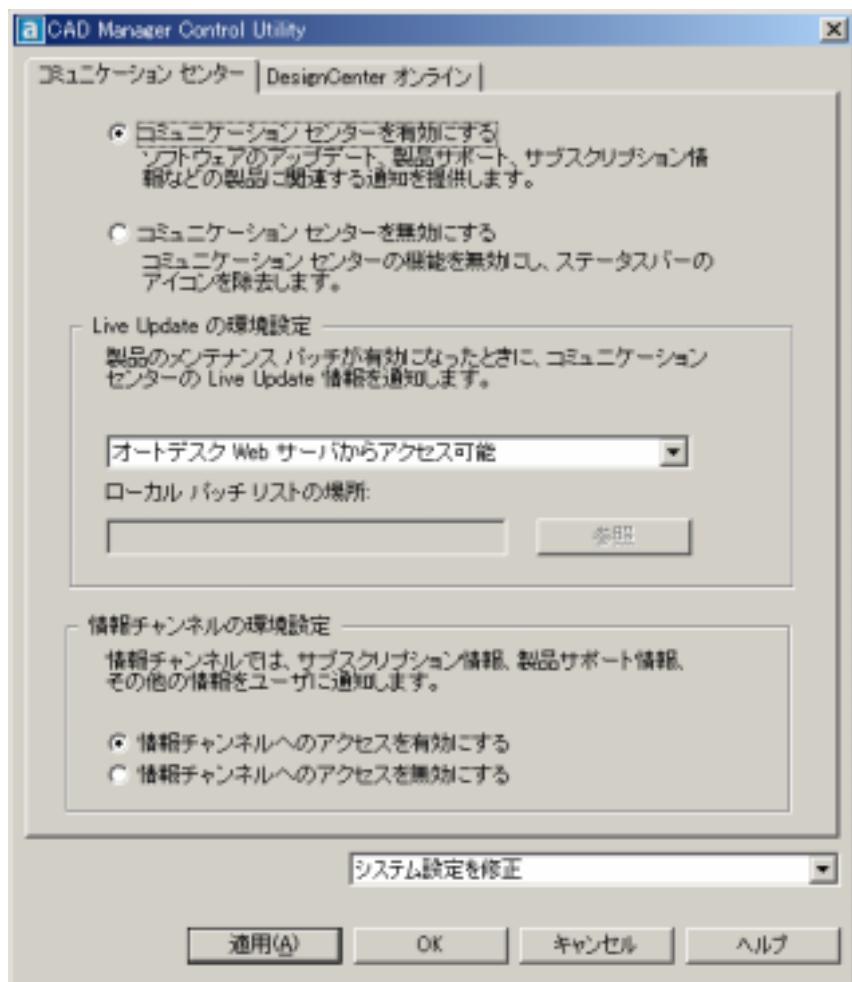


図 36 CAD Manager コントロール ユーティリティ

外部参照通知

AutoCAD 2004 は、外部参照図面を変更された場合の即時通知を提供します。ステータスバーのアイコンは、外部参照にアタッチされた図面用に表示されます。もし、外部参照の1つが編集されると、アイコンは参照ファイルの名前と誰が変更したかを示します。



図 37. 外部参照通知アイコン

ステータスバーの外部参照アイコンをクリックして外部参照管理を開き、更新された図面をすばやく再ロードできます。

参照ファイル管理

ファイルの関係は複雑になります。しかし、AutoCAD 2004 で利用可能な“参照管理”では、それらの管理は簡単です。AutoCAD 2004 によって生成されたすべてのファイル関係と依存関係、および、AutoCAD 2004 上で構築されたインダストリ固有製品を自動的に管理できます。参照ファイル（図面、イメージ、標準仕様、フォント、印刷スタイル）のためのすべてのパスに関する、ネットワーク全体に渡る報告書を作成するためにそれを使用します。もし、参照パスを更新する必要がある場合は、単に変更を指定してください。そうすれば、変更は全体的に起こります。

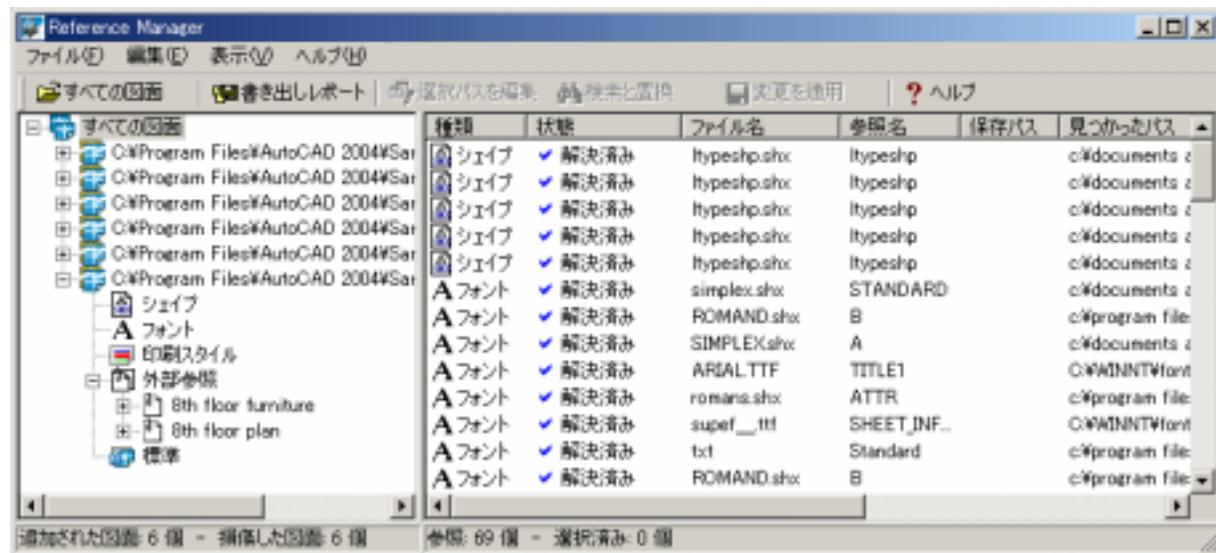


図 38 参照管理

図面のセキュリティ

AutoCAD 2004 は、安全な環境で図面を伝えるための強力な新機能を提供します。新しいセキュリティオプション ダイアログボックスは、AutoCAD 図面にデジタル署名だけでなく、パスワード保護も適用できます。コマンドライン(SECURITYOPTIONS コマンド)と オプション ダイアログボックス(開く/保存タブ)を含むいくつかの方法で、セキュリティオプション ダイアログにアクセスできます。

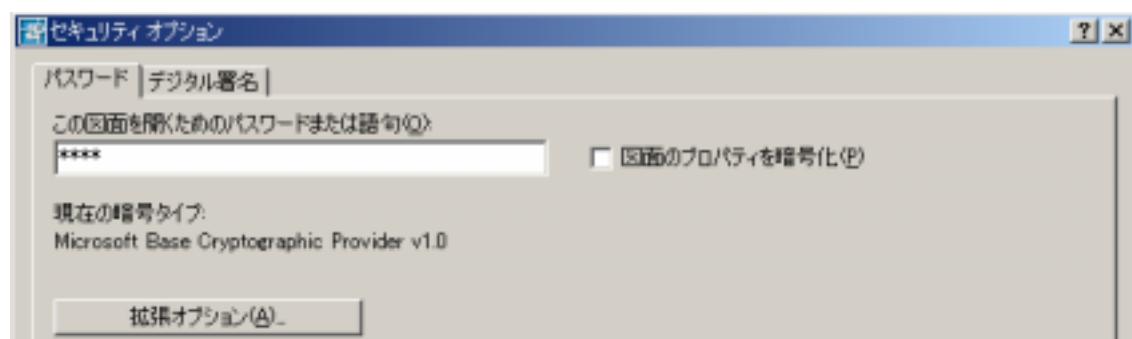


図 39 セキュリティオプション ダイアログ ボックス

パスワード保護

図面にパスワード保護を適用することは、予想外のソースによっても開くことができないと分かるセキュリティで、それらを配布することを可能にします。

セキュリティオプション ダイアログボックスの パスワード タブで、図面の受け取りに要求されるパスワードを提供できます。拡張オプション ダイアログボックスでは、様々な暗号化タイプから選択することができます。

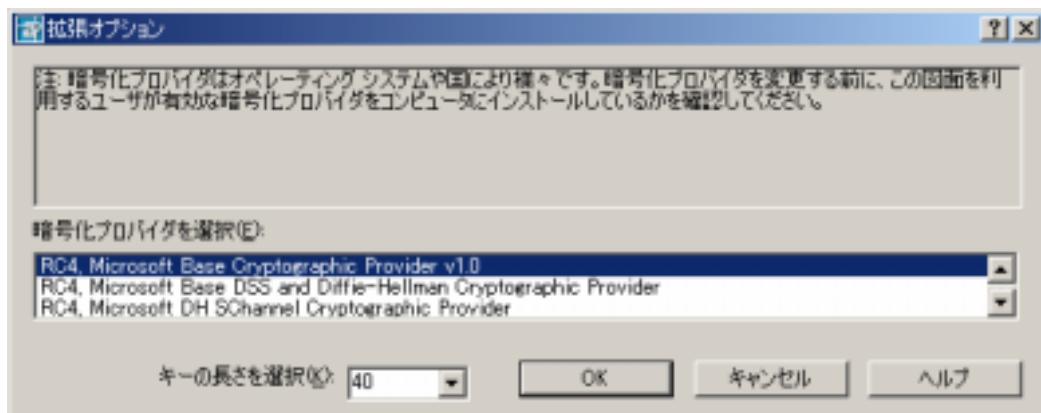


図 40 拡張オプション ダイアログボックス

パスワード保護された図面を開こうとすると、パスワード ダイアログボックスが表示されます。

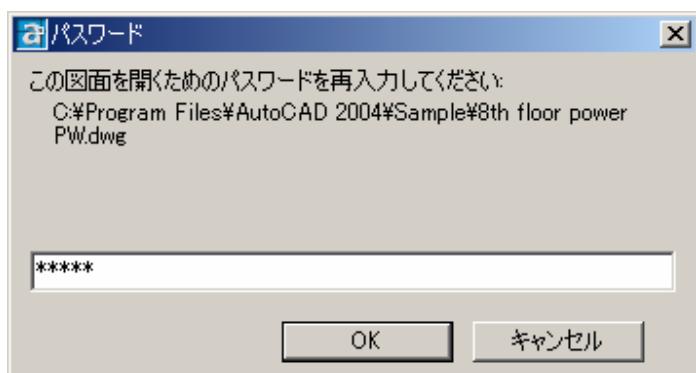


図 41 図面を開く際に表示される パスワード ダイアログボックス

重要! もし、パスワードを失くしたり忘れてしまうと、図面は修復できません。

デジタル署名

デジタル署名は、デジタル デザイン データのセキュリティを保証する、もう一つ方法を提供します。デジタル署名機能は、起源(図面に署名する人の同一性を確認)、状態(図面が変更されていないか)、および、非拒否(署名者は図面に署名しなかったと主張することができない)のためにデジタルで署名された図面が確認することができる、安全な環境を提供します。

セキュリティオプション ダイアログボックスの デジタル署名 タブで、インストールされた署名を選択して現在の図面にアタッチできます。現在インストールされた署名を持っていない場合は、任意の数のデジタル ID (証明書) プロバイダを利用できます。それらのうちの多くは、VeriSign のように無償トライアルのデジタル ID を提供しています。

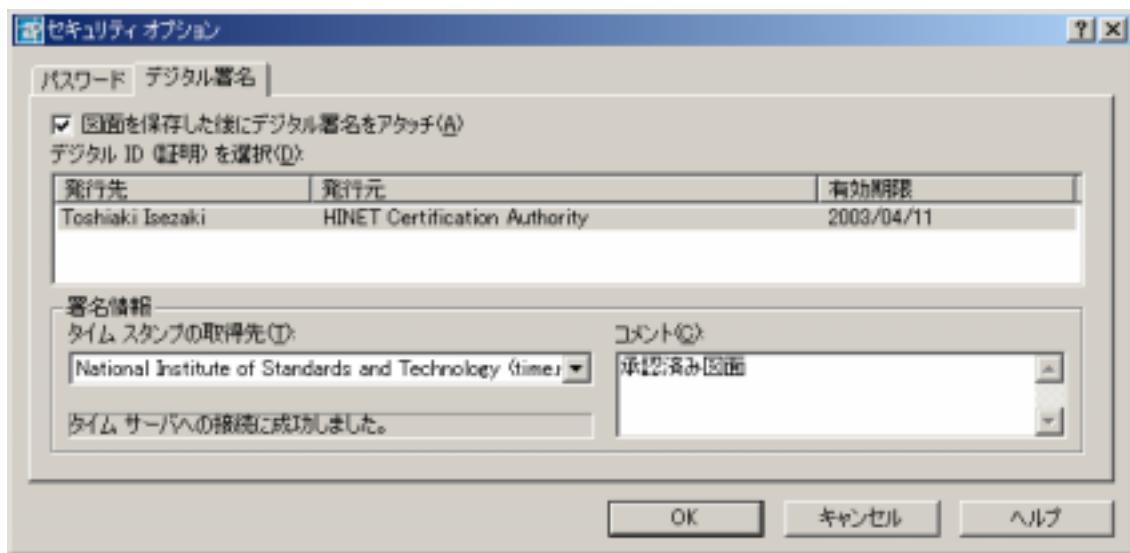


図 42 デジタル署名 タブ

デジタル署名の選択に加えて、署名のコメントのみでなく、タイムスタンプのリストからも選択ができます。

デジタル署名では、アタッチされた図面を開くと、デジタル署名に関連した情報を提示する デジタル署名の内容 ダイアログボックスを表示します。

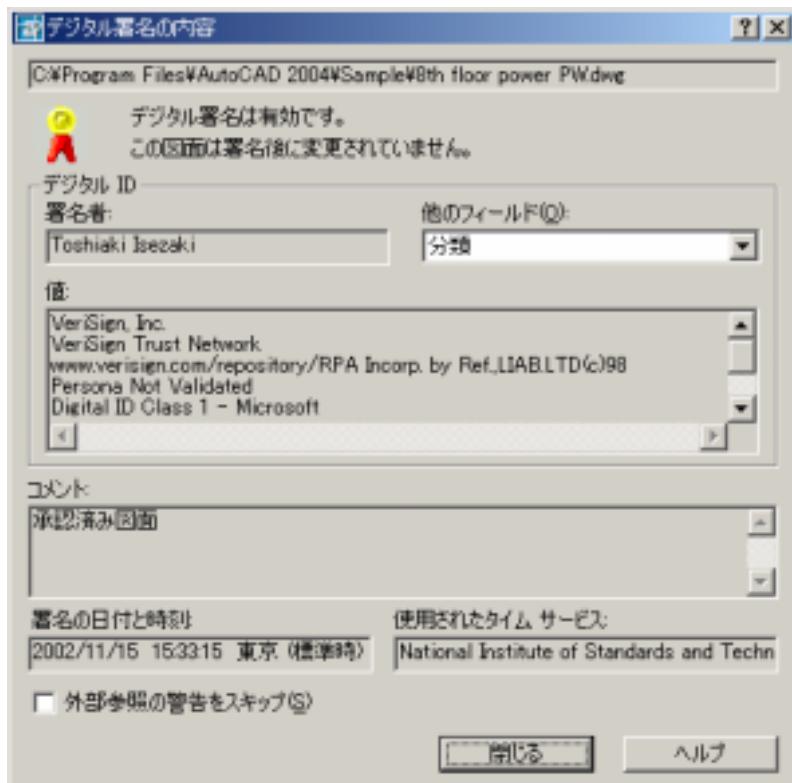


図 43 デジタル署名の内容 ダイアログボックス

ステータスバー上に、開いた図面がデジタル署名をアタッチしていることを示す デジタル署名アイコンが現れます。更に、Windows エクスプローラの図面アイコンもデジタル署名の提供を示します。



図 44. デジタル署名 アイコン

デジタル署名された図面の保存は、安全性の目的で署名を無効にします。しかしながら、署名データは図面に保持されます。



図 45. 無効なデジタル署名

CAD 標準仕様

CAD 標準仕様の管理は、退屈で時間を要するものですが、実施しなければなりません。AutoCAD 2004 で利用可能な CAD 標準仕様の機能で、それはより容易になりました。チェックしたい標準仕様のタイプ（寸法スタイル、文字スタイル、画層、線種）を選択できるので、ソフトウェアがユーザのオフィスにとって重要な違反のみをチェックします。標準仕様管理は、業務の間中、背後で自動的に実行して違反をすぐに通知し、修正を提案します。加えて、電子メールの添付として CAD 標準仕様の監査報告書を容易に送信でき、読み込みに適した形式でそれらを印刷することができます。

改良されたユーザ インタフェース

ユーザ インタフェースは、標準仕様の機能に容易に、より直感的にアクセスするために改良されています。この変更には、ボタンの位置とラベル、バッチ標準チェックへのプルダウンメニューの追加、標準仕様を確認 ダイアログボックスの見やすくて理解しやすい警告ボックスなど、小さな修正を含んでいます。

CAD 標準仕様 ダウンロード センター

標準仕様を設定 ダイアログボックスは、Autodesk® Point A の CAD 標準仕様ダウンロード センターに直接リンクを提供します。

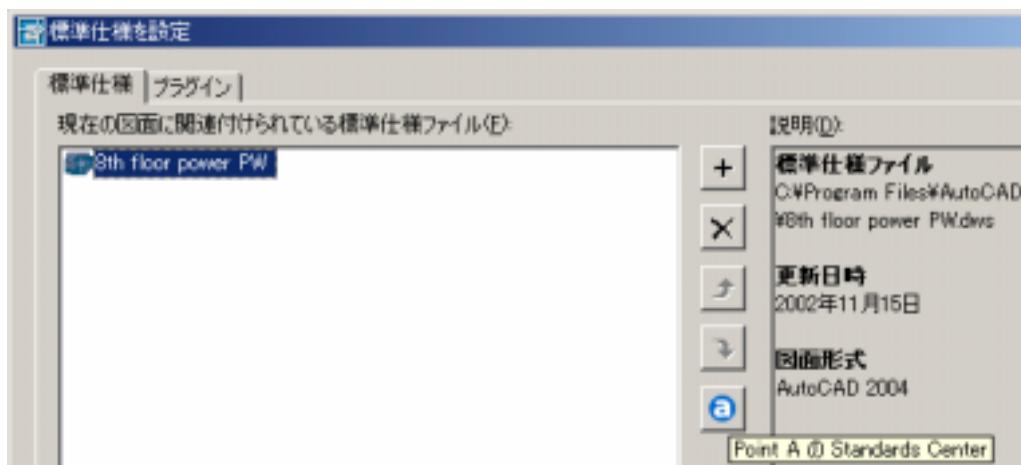


図 46. 標準仕様センター ボタン

CAD標準仕様ダウンロード センター

(<http://pointa.autodesk.com/download/standardscenter>)から、他のユーザによってカスタマイズされポストされたCAD標準仕様だけでなく、特定のインダストリに共通するCAD標準仕様ファイルをダウンロードすることができます。時間を節約するためにこのCAD標準仕様ダウンロードセンターを使用することで、インダストリ特有の慣例で条件を満たすための手助けになります。



図 47. CAD 標準仕様 ダウンロード センター

プラグイン フィルタリング

プラグイン タブのチェックボックスの追加で、対象したい標準仕様のタイプのみを選択できます。対話形式とバッチ形式の監査の両方で、必要な標準仕様違反のタイプをすばやく認識することができます。



図 48 標準仕様の設定とバッチ標準チェッカーの プラグイン タブ

プラグインのフィルタリングで、必要な標準仕様のみをチェックすることができます。例えば、もし線種が重要でない場合は、線種プラグインのチェックをはずせます。対話形式の監査とバッチ形式の監査の両者は、線種標準仕様の違反の情報を統一して報告しなくなります。

プラグインでのマウスの右ボタンクリックは、“すべて選択”や“すべてクリア”的オプションを持つショートカットメニューを表示します。

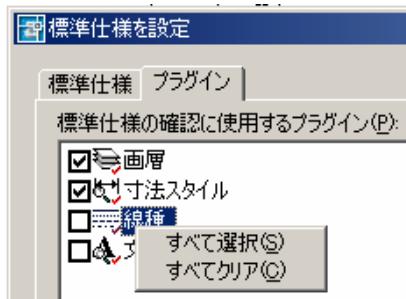


図 49 状況依存メニュー

リアルタイム通知と修復

AutoCAD 2004 は、小さな標準仕様違反のためにいくつかの方法を提供します。新しい CAD 標準仕様使用の設定 ダイアログボックスのシステム設定で、AutoCAD が警告とステータスバーの標準仕様違反アイコンを表示することを可能にします。

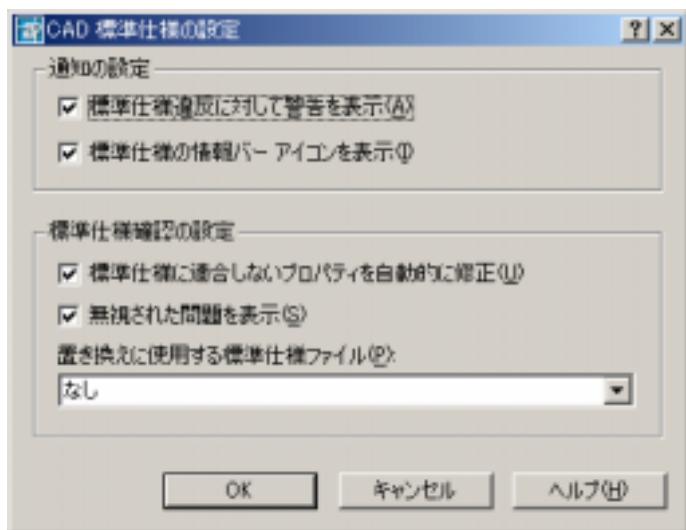


図 50 CAD 標準仕様設定

ステータスバーのアイコンは、標準仕様違反が発生した際に、リアルタイムで視覚的なフィードバックを提供します。監査を実行せずに、図面の標準仕様準拠の状態をすばやく確認できます。アイコン上でクリックは、違反を確認、修正するために、標準仕様を確認 ダイアログボックスを自動的に開きます。



図 51 標準仕様違反アイコン

標準仕様違反を警告する表示は、前の操作が標準仕様の違反の原因となったかを直ちに通知します。例えば、標準でない画層を作成するか、標準画層のプロパティを編集すると、ソフトウェアは前の操作が標準でないオブジェクトをしたことを警告して、違反を修正する機会を与えます。

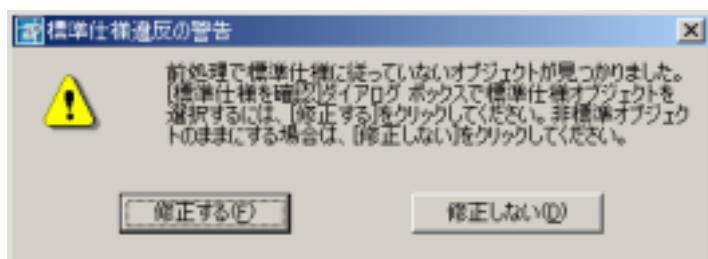


図 52 標準違反の警告

稀に、警告にもかかわらず、標準仕様から逸脱する必要があるかも知れません。標準仕様違反の警告では、AutoCAD で以前に利用可能だった柔軟性を、すべてなお維持しています。“修正しない”を選択して警告を終了し、標準でないオブジェクトを作成します。

修正オプションの選択は、修正の提案と共に 標準仕様を確認 ダイアログボックスを自動的に起動します。標準仕様を確認 ダイアログボックスは、前の操作の直接の結果である標準仕様違反だけを表示する

ために、自動的にフィルタリングされます。この自動フィルタリングで、時間を節約して、他の関連のない問題に惑わされずに、現在の違反に注意を向けることができます。

自動的に標準でないプロパティを修正する機能を有効にしている場合、標準仕様の違反に関連したプロパティは、標準仕様を確認 ダイアログボックスを表示せずに効率よく自動的に修正されます。

図 53 完全な通知のチェック

スタンドアロン レポート

バッチ形式の監査レポートは、自身を含めて、電子メールの添付として容易の他に送ることができます。レポートの形式は、印刷用に最適化できます。HTML レポートは、バッチチェッカーがチェック操作を完了するか、“レポートを表示”を選択した際に表示されます。HTML データは、データの扱いを簡素化するよう、ブラウザからスプレッドシート アプリケーションへのカット & ペーストを容易にするために、テーブルとして作成されます。

HTML レポートの印刷用に最適化されたバージョンでは、“Printer-friendly version” とラベルされたレポートの上部にあるチェックボックスを導入しています。このチェックボックスの選択は、8.5" × 11" の縦モード の出力用に最適化されて、ブラウザ内に情報表示させます。

Buzzsaw の統合

AutoCAD は、図面とドキュメントの共有や、中央集約型やセキュアなオンライン上でのプロジェクトチーム コミュニケーションを可能にする、オンライン コラボレーション サービスである Autodesk Buzzsaw(TM) に統合されます。ユーザ フレンドリーな Buzzsaw サイトへの直接リンクで、AutoCAD 図面に簡単にアクセスしたり配布できます。

パフォーマンスと管理

AutoCAD 2004 は、強力なライセンスと管理ツールを提供しながら、パフォーマンスを向上させています。

パフォーマンス

AutoCAD 2004 のファイル圧縮とロードの機能は、外部参照のロードのみでなく、ネットワークでファイルを開くパフォーマンスを向上させています。

ファイル圧縮

図面ファイルは、AutoCAD 2004 から保存された際に小さくなります。初期の図面サンプリングでは、44% のファイルサイズが減少した平均値を示しています。

- UI を必要とせずに、完全に自動化して DWG 保存に圧縮が統合される。
- パフォーマンスの損失なしで、WinZIP 圧縮に匹敵する。
- AutoCAD 外部のファイル圧縮の必要性を避ける。

通常インストール

CD-ブラウザ

AutoCAD 2004 は、AutoCAD と付随するツールの発見とインストールを以前より容易にする、新しい CD-ブラウザを提供します。ブラウザ様式のインターフェースは、便利な情報と技術的な援助を提供して、AutoCAD に付随するアプリケーションの発見とインストールを容易に可能にします。



図 54. AutoCAD 2004 CD-ブラウザ

共存インストール

AutoCAD 2004 は、製品移行時において既存のソフトウェアを操作するために、すべての他のリリース製品と並行してインストール、および、実行することができます。この共存の相互互換性は、プロジェクトのデータ同様に、スムーズなユーザ知識の移行を可能にします。

Microsoft Windows ロゴ認定

AutoCAD 2004 は、“Designed for Windows XP –Optimized for Enterprise” ロゴ プログラムの認定を受けました。これは、AutoCAD 2004 が、限られた正規ユーザとして AutoCAD を実行可能なことを含む XP の企業環境で、スムーズに実行することを保証します。

その他の変更と強化

その他の変更を強化は、AutoCAD 2004 でより良いコントロールと改善された更新とインストール体験を提供するようおこなわれました

- MST インストール
- 更新されたマイグレーション ツールを使用しています。
- Windows 2000 と Windows XP 上で AutoCAD を実行するために、既定のユーザのための Power User 権限は必要とされません。

CAD Manager Tools

AutoCAD 2004 のインストール CD は、CAD 管理者や IT 管理者がソフトウェアを展開し、管理することを援助するツールを含んでいます。

Autodesk Product Manager

1箇所からの PC、LAN、WAN 上にインストールされた Autodesk ソフトウェア一覧は、CAD 管理者や IT 管理者が、技術投資によって最大の利益を確保するために、ソフトウェア資産のトラッキングを容易することを可能し、過剰なソフトウェアの購入を回避できます。

インストレーション スクリプト生成ウィザード

AutoCAD 2004 で使われる Microsoft® Windows® インストーラ (MSI) テクノロジは、スクリプトの開始よりほか、ユーザが参加する必要がなく、製品をインストールするスクリプトの使用を可能にします。インストレーション スクリプト 生成は、Service Pack、Extension や、固有のカスタマイズ ツールすら展開するために、すばやくスクリプトを作成します。



図 56. インストレーション スクリプト ウィザード

Autodesk Product Manager と インストレーション スクリプト生成ウィザード は、AutoCAD 2004 CD-ブラウザのネットワーク展開ページ上の Autodesk CAD Manager Tools 2.0 リンクからインストールできます。

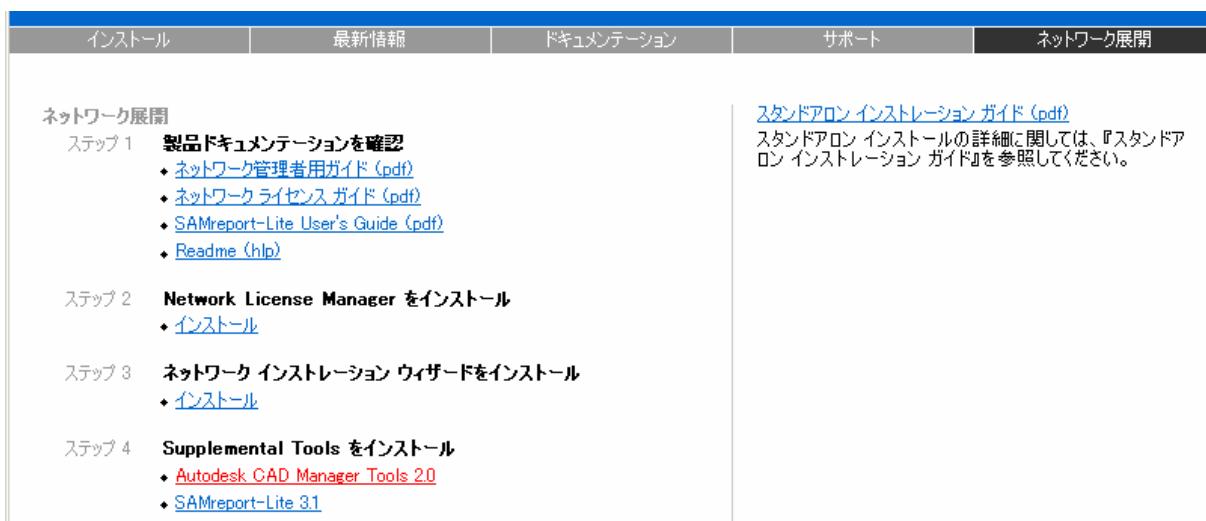


図 57. CAD Manager Tools のインストール

インストールされると、CAD Manager Tools は“スタート”メニューの“Autodesk”直下からアクセスすることができます。



図 58. CAD Manager Tools のアクセス

CAD 管理者 コントロール ユーティリティ

IT 管理者 や CAD 管理者は、DesignCenter オンライン や コミュニケーション センターなどのインターネットに基づいた機能へのユーザ アクセスを、制限したいと考えるかも知れません。AutoCAD 2004 の製品 CD は、これらの機能を無効するために使用できる CAD 管理者コントロール ユーティリティ を含んでいます。CAD 管理者コントロール ユーティリティ は、製品 CD の下記の場所で見つけることができます。：

Bin\ACADFeui\support\CADMangerControl\CMControl.exe

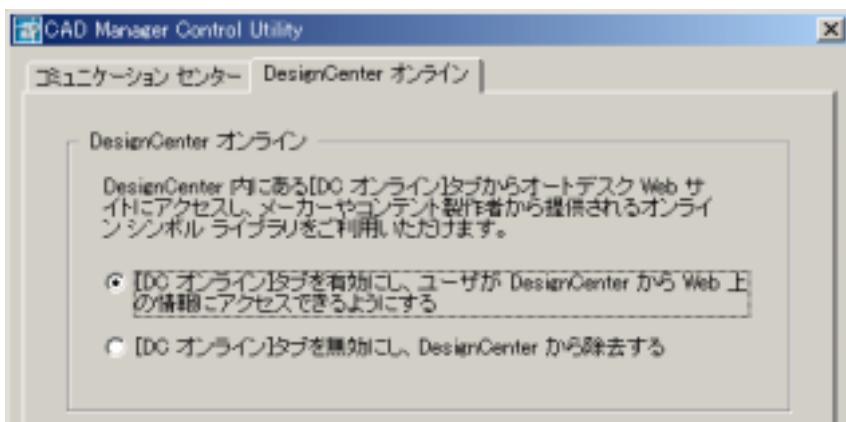


図 59 CAD 管理者 コントロール ユーティリティ

ソフトウェア展開

AutoCAD 2004 で利用可能な ネットワーク インストレーション ウィザード (NIW) は、管理上の展開イメージの作成と編集に、より柔軟性を与えます。ネットワーク インストレーション ウィザードは、インストレーション のカスタマイズとパッチの適用を許容する、Microsoft インストーラ (MSI) 管理イメージを作成します。例えば、ワークステーションにすべてのファイルをインストールするための展開、ネットワークから製品を実行するためのもう1つの展開、また、ユーザの CAD の専門知識に基づいた機能をインストールする展開などです。ネットワーク インストレーション ウィザードを使用して、AutoCAD の以前のバージョンによって要求される多くの手動の回避策なしで、必要とする AutoCAD インストールの方法を設定するために CAD Manager を使用して、時間を節約します。

ネットワーク インストレーション ウィザードは、AutoCAD 2004 インストール メニューのネットワーク展開ページからインストールできます。

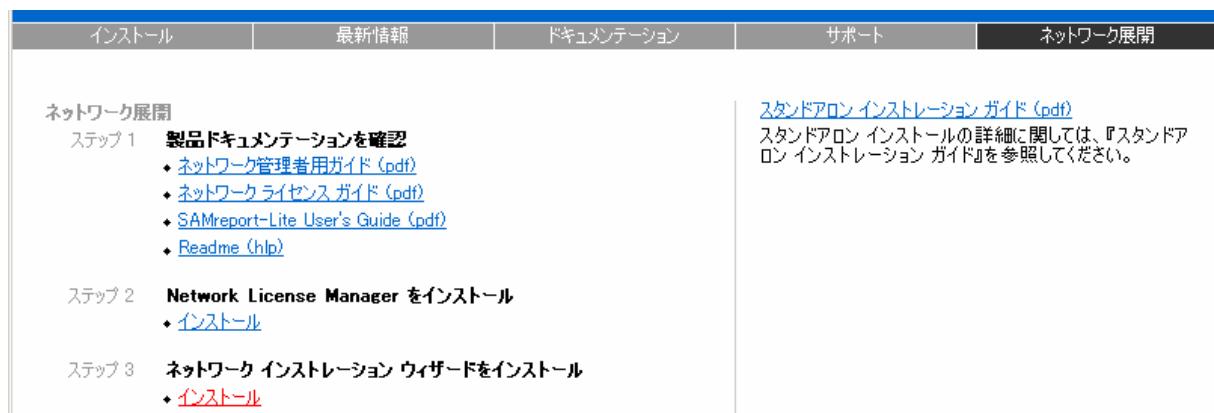


図 60. ネットワーク インストレーション ウィザード のインストール

インストールされると、ネットワーク インストレーション ウィザード は "スタート" メニューの "Autodesk" 直下からアクセスすることができます。



図 61. ネットワーク インストレーション ウィザードのアクセス

展開イメージの編集

ネットワーク インストレーション ウィザードは、小さい変更のせいでイメージ全体を再作成しなければならないことによって、CAD Manager の保存している既存のイメージを編集するだけでなく、展開を作成することも可能にします。.

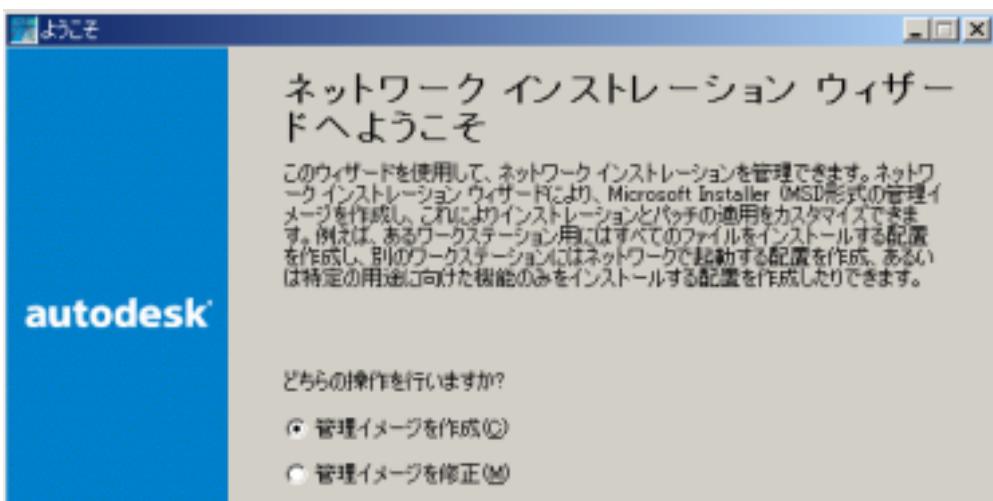


図 62. ネットワーク インストレーション ウィザード

サーバー設定

ネットワーク インストールのために展開を作成した際には、ネットワーク インストレーション ウィザードで、様々なライセンス サーバー オプション（シングル、分配型、助長型 を含む）を容易に選択することができます。

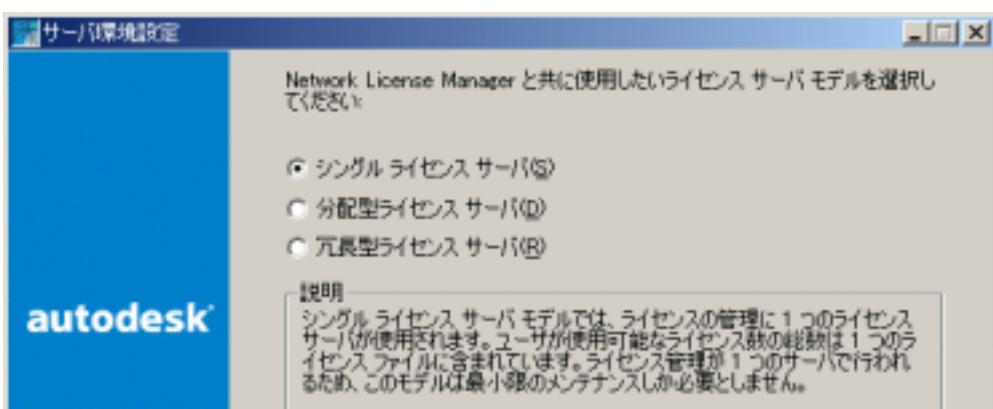


図 63. ネットワーク インストレーション ウィザード

カスタム展開ツール

ネットワーク インストレーション ウィザード の新しいツールは、CAD 管理者 や IT 管理者が、検索パスを指定して、カスタム テンプレートや、ドライバ、メニュー、その他に容易にアクセスすることを可能にします。

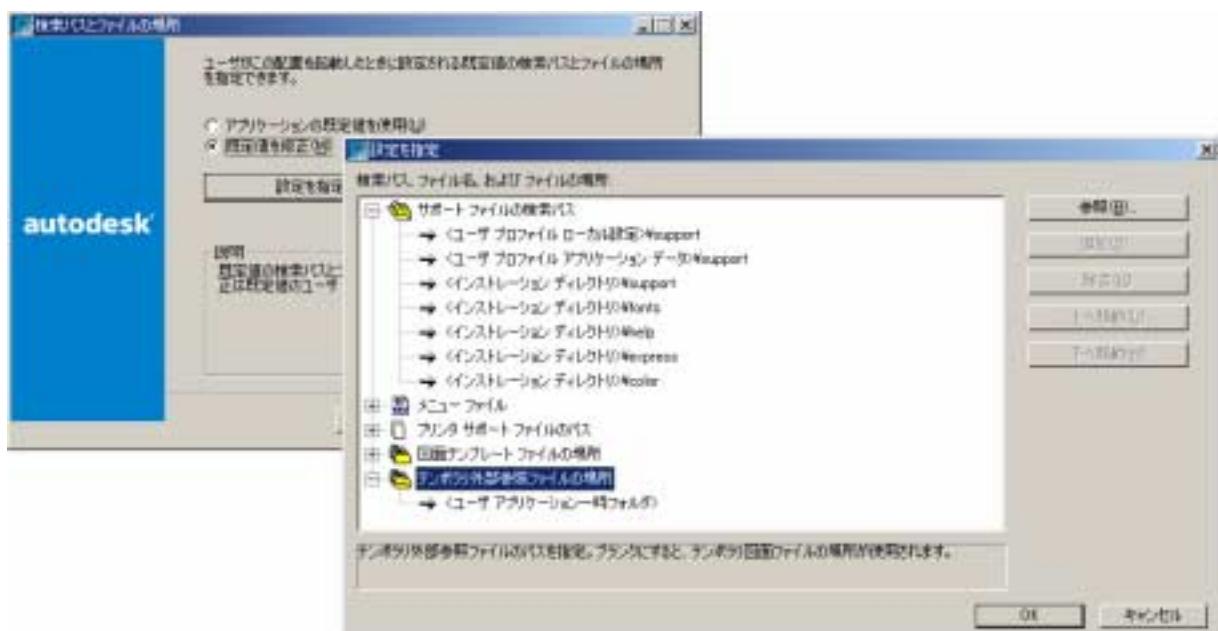


図 64. 検索パスとファイルの位置

企業の標準仕様を満たす AutoCAD デスクトップをすばやく、簡単にセットアップすることで、時間とリソースを節約します。

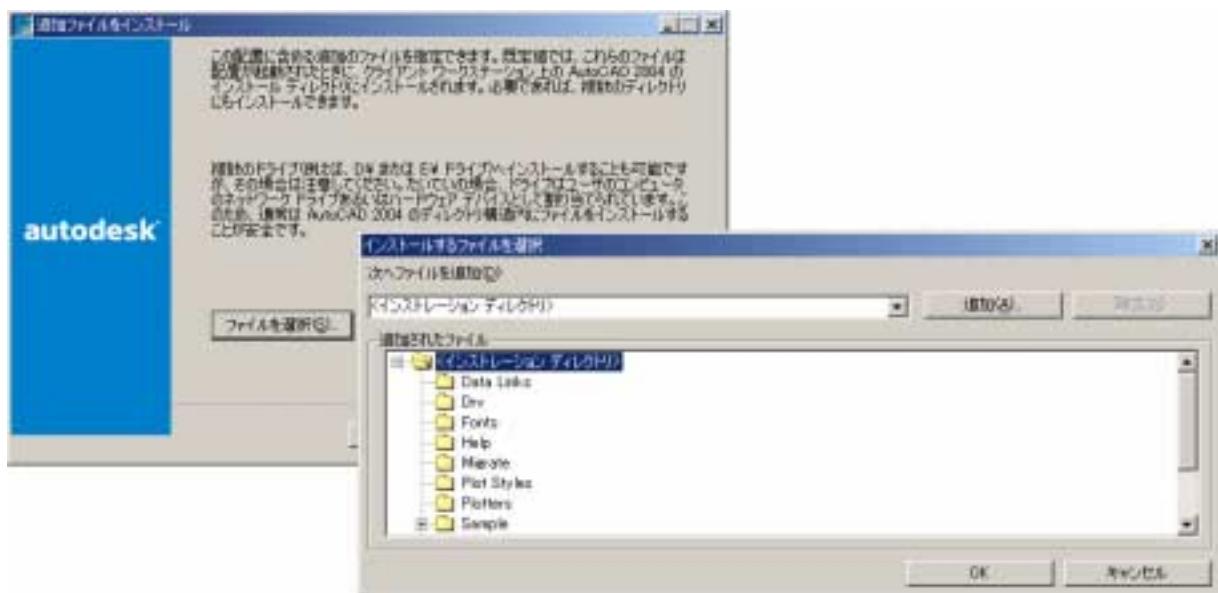


図 65. 追加ファイルのインストール

管理上のコントロール

ネットワーク インストレーション ウィザードで、Live Update や DesignCenter オンラインなどのインターネット機能にアクセスするユーザを、コントロールする展開を作成することができます。

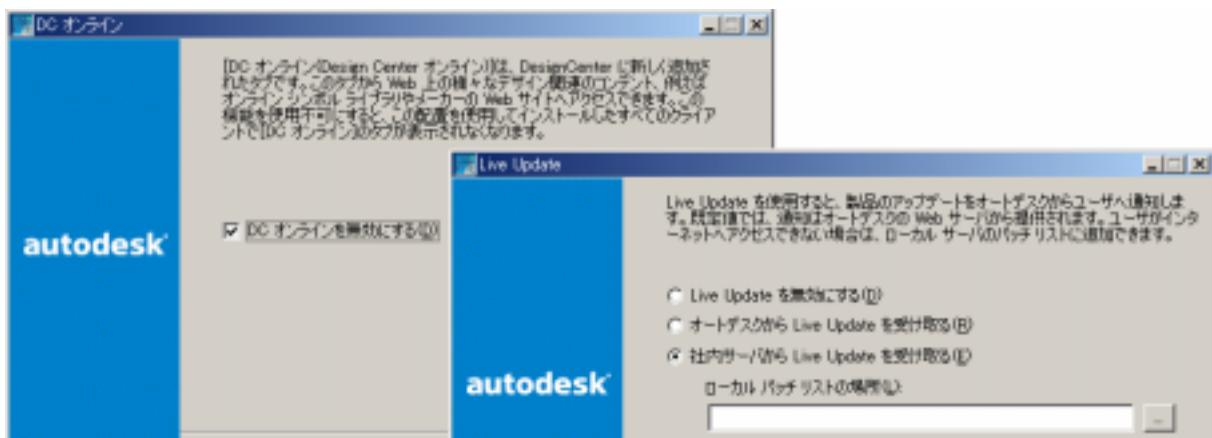


図 66. ネットワーク インストレーション ウィザード

ソフトウェア ライセンス

AutoCAD 2004 は、AutoCAD ライセンスの使用を最大化できる FLEXIm 8.2 によって、強力な新機能を利用できます。

ライセンス借用

ライセンス借用は、同時にサーバー上のライセンスを無効にしつつユーザのコンピュータ上に期間制限されたライセンスをインストールする機能を提供します。ライセンスは、（ライセンスを借用された）コンピュータ上でライセンス サーバーに接続せずに AutoCAD を実行するために使用されます。ライセンス借用は、出張や稀な家からの仕事でコンピュータを持ち出す必要がある場合、大きな利点となります。

ライセンス借用機能は展開の1つのオプションであり、ネットワーク ライセンスを貸し出す必要があるユーザに有効なはずです。

最高7日の設定で、環境変数を経由して最大借用期間をコントロールできます。

オプション ファイルは、同時に貸し出し可能なライセンスの（最大）数のを設定を含む、新しいコントロールを提供します。加えて、システム管理者は、ユーザやユーザグループへ貸し出し機能の使用を明示的に許可、または拒否できます。

ライセンス借用ユーティリティを使用して、ライセンス ユーザは最大の貸し出し期間までライセンスを借用できます。

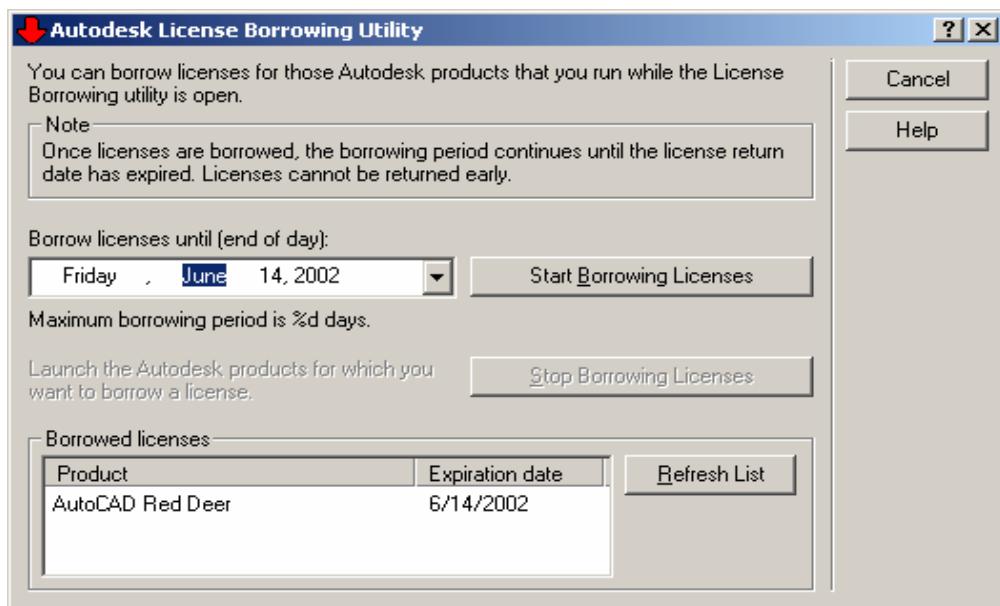


図 69 Autodesk ライセンス借用ユーティリティ

期間が終了した際には、ライセンスはユーザのコンピュータ上で自動的に無効にされ、ライセンスサーバーへの接続なしにサーバー上に戻されます。ユーザが、現在の貸し出し期間終了後も時間を必要とする場合は、サーバーに接続して他のライセンスを借用できます。

ライセンス タイムアウト

ライセンス タイムアウトは、ライセンスが再び利用可能なるよう、サーバーへライセンスを自動的に戻すために、ライセンスサーバー上のタイムアウト期間を設定できます。ライセンス タイムアウトは、クライアント接続が失われて、さらに、それがユーザのコンピュータで使用されずにライセンスがチェックされるのを妨げる際は、ライセンスサーバーへライセンスを戻します。

ライセンス タイムアウトは、ライセンスがライセンスサーバーによって再生される前に、どれくらいの期間、製品セッションが使用されていないかを限定するオプション ファイルの設定を定義する際に、有効化されます。オプション ファイルでこのフラグを設定した場合、クライアント接続が失われた場合か、製品が定義されたタイムアウト期間より多くワークステーション上で使用されていない場合、ライセンスサーバーによってユーザのライセンスが再生されます。

もし、未使用でタイムアウトになりユーザライセンスが失われた場合は、一度ユーザが製品を再度実行しようと試みると、新しいライセンスを要求しようとします。ライセンスが利用不可能な場合、ユーザは製品がシャットダウンする前に作業を保存できます。



Autodesk, Inc.
111 McInnis Parkway
San Rafael, CA 94903
USA

Autodesk and AutoCAD are registered trademarks of Autodesk, Inc., in the USA and other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders.

© Copyright 2002 Autodesk, Inc. All rights reserved.